



いちご

赤くて、甘酸っぱい 季節がやってきた

これから収穫の最盛期を迎えるいちごが、市内でも栽培されていることをご存じですか。市内では、現在4軒の栽培農家があり、栽培方法は農家によって異なりますが、それぞれの農家がこだわりのおいしいいちごづくりに取り組んでいます。今回は「苺の畑ふじみ」の桶田さんのハウスを訪ねまし



いちごの豆知識

いちごはビタミンCが豊富で、大粒のいちご6粒程度で大人が1日に必要なビタミンCを摂ることができます。手軽に美味しくビタミンCを摂ることができ、とてもヘルシーです。

いちご栽培への挑戦

南畑新田でいちごの観光農園を営んでいる桶田さんご夫妻は、もともとは酪農家で乳牛を飼育していました。「いちごの観光農園をやってみよう」との思いから一念発起し、いちご栽培への挑戦を開始しました。ゼロからのスタートだったため、いちごの栽培をしている農家で研修を重ね、平成23年12月に農園をオープンし、今年で3回目の収穫期を迎えました。

「何も分からない状態からのスタートだったので、大変でしたが、多くの方に支えられてオープンできました。」と当時は振り返ります。

甘くておいしいいちごを栽培するために

いちごの栽培は、水・肥料・温度の管理がとても重要で、毎日状態を細かくチェックする必要があります。9月にいちごの苗の定植を行い、10月下旬ごろに花が咲き始めます。花の咲く時期にはミツバチが活躍します。ハウス内には巣箱が置かれ、花と巣箱の間をミツバチが忙しそうに往復し、花のみつを集めます。ミツバチは、花のみつを集める際、花の中心部分をくると一回りしま

す。この行動で花の受粉が行われます。この時期に行う摘果作業はとても重要で、ひと株ずつ、手作業で剪定を行い、実の数を調節します。この作業により果実にたっぷり養分がいきわたり、品質の良い、おいしいいちごを育てることができると言えます。生育状況にもよりますが、12月になると直売が始まり、1月からいちご狩りが楽しめます。

高設栽培のいちご

農園の大きなビニールハウスでは「章姫」、「紅ほっぺ」、「かおり野」という3種類のいちごを栽培しています。いちごの苗を棚で育てる高設栽培方式を採用しているため、立ったままいちご狩りが楽しめます。また、バリアフリーになっているので、ベビーカーや車いすの方でも気軽に楽しむことができます。

桶田さんは、「いちごを食べてくださいました方が『おいしい』と笑顔になってくれることが一番の喜びです。苦労も多いですが、農業って楽しいですよ。ご来園をお待ちしています。」といきいきとした表情で話されました。



「苺の畑ふじみ」の桶田さんご夫妻

富士見市産のいちごを賞味ください

市内のいちご栽培農家では、丹精こめた自慢のいちごを栽培しています。いちご狩りや直売、地方発送を行っていますので、ぜひご利用ください。また、毎月第3火曜に開設する市役所臨時農産物直売所「つきいち」や市役所1階「地場産品ショップゆい」でも摘みたての完熟いちごを販売しています。地元で採れたいちごをぜひ味わってみてください。問合せ／産業振興課 ☎243



▲高設栽培の施設。立ったままいちご狩りができ、ベビーカーや車いすの方でも気軽に楽しめます。



▲受粉時期はミツバチが活躍

◀ハウス内に置かれた巣箱

おいしい摘みたて
いちご販売



つきいち

～臨時農産物直売所～

市役所臨時農産物直売所は毎月**第3火曜**に開設します。富士見市産の新鮮野菜・新米・味噌などの加工品を販売します。

※レジ袋削減のため、買い物袋をお持ちください。

とき／1月21日(火)午前10時～午後1時

場所／市役所1階ロビー

販売者／富士見市農業研究団体連絡協議会

問合せ／産業振興課 ☎243

いちご栽培農家

農園名	所在地	連絡先	営業期間	主な販売方法
苺の畑ふじみ	南畑新田385	☎080-5861-4115(桶田)	12月～5月	(観光農園) いちご狩りと直売
ふじみストロベリー	勝瀬1083	☎080-4125-0283(浦野)		(観光農園) いちご狩りと直売
渋谷貞男	下南畑3517	☎049-251-8975(渋谷)		直売(予約販売)
柳下稔(ワイズファーム Y's farm)	下南畑433	☎049-251-0553(柳下)		直売(予約販売)

※完熟いちごが無くなった場合は休園となります。電話でご確認ください。

お願い：いちご狩りをされる方は、マナーを守り、つくる人の気持ちになってお召上がりください。